



このおたよりは、『明保小のアジサイ』を通してご縁がある方・今までせん定ボランティアなどでお世話になった方などにお届けしています。

皆さまこんにちは。

今年もアジサイの季節がやってきました。明保小フラワーロードで花が咲き出して、学校周りを散歩する方が多くなるこの頃です。日頃の地域・学校・保護者の皆様のご協力・見守りのおかげで潤いのある環境が保たれます。いつもありがとうございます。

【明保小中庭の赤いポストに映えるアジサイ】
いつからここにあるのか、なつかしい形のポスト。
お手紙を入れたくなります。
(6/18撮影)



最近の話題

明保小児童会「さわやか集会」

梅雨空の6/23に明保小で「さわやか集会」が行われ、一昨年の児童会の委員会活動で作られたアジサイのさし芽苗30本程が、子どもたちの手で中庭に定植されました。

明保小の教育活動の特色の一つに『ふるさとの人や自然を大切にする子』という内容があります。その一環として行われるのが児童会主催のさわやか集会です。1年生から6年生が一つの班になる縦割り班活動として行います。この日は例年のアジサイのフラワーロードの草取りに加えて、中庭で各学年が役割分担をしながら丁寧にさし芽苗を植えていました。

この活動のために学校の先生方のご準備や地域の方のアドバイスもありました。子どもたちの成長とともにさし芽のアジサイたちが成長した中庭の風景を想像すると今から楽しみです。



明保小学校のホームページでも詳しい様子を読むことができます。



今年のアジサイせん定ボランティア活動について

今年のせん定は右の通り行います。参加したい方は下記までご連絡下さい。

(地域回覧・チラシ等で広くご案内することはしておりません。)

《夏季せん定》 7月17日(土)

朝8時に学校正面玄関集合 *雨天決行 *作業に適した服装・マスク着用で *軍手・帽子・飲み物持参
*当日受付可

連載 〈明保のアジサイびと〉 vol.2

廣瀬 秀男 さん （鶴田町）

廣瀬秀男さんは7月のアジサイせん定ボランティア活動に毎年欠かさず参加している方です。

十郎ヶ峰の東方へアジサイを捕植してフラワーロードを延長したのが平成20年、廣瀬さんはそれよりもだいぶ前から草取りをしたりリュウノヒゲを舗装道路と土の境に植えこむなど、安全に登校できるよう十郎ヶ峰の通学路整備を一人でコツコツ続けてきていました。

アジサイの咲く時期にはいつもカブを走らせて観に来るといいう廣瀬さん、せん定の際は、翌年の花が咲くことをイメージしながら一本一本の枝をよく見て丁寧な作業を心がけているとのこと。「これからも手入れが続けられて、アジサイがきれいに咲く道であってほしい」と願いながら、今年のアジサイせん定ボランティアも参加のご予定です。



（写真は一昨年のアジサイせん定時）

大橋 ヨシ子 さん （田下町）

大橋ヨシ子さんは明保小のクラブ活動で長年押し花のご指導をしている方です。また、地域各所でも講座を持ち、幅広い年代に押し花の楽しさを伝えています。さらに明保小放課後子ども教室での活動も10年近く続いており、特にアジサイを活用した押し花の作品づくりは子どもたちの楽しみの一つです。

大橋さんの元のお住まいは西の宮で、その頃文化祭に押し花作品を出展し、当時の校長先生が目にとめたのをきっかけにクラブ活動でのご指導が始まりました。「好きな事が支えとなり続けてきた事で新たな縁も生まれ、地域との関わりも増えていき、それも花のくれためぐり合わせなのでしょう。」と語る大橋さん、これからも押し花の活動を続けながら子どもたちの生き生きとした姿を見ていきたいそうです。



（写真は6/28中庭にて）

〈明保のアジサイびと〉とは・・・

明保小のアジサイを通しての出会いをテーマにして前号から掲載を始めました。今後も連載して紹介したいと思っています。「ひと」にこだわらず「こと」「もの」もあるかもしれません。次号をお楽しみに。。。。

♪超ミニコラム♪ アジサイのおまじない

アジサイは昔からおまじないとしても使われてきたそうです。毎月6のつく日に軒下や玄関に逆さに吊ると魔除けになるとか。土地ごとの風習に結び付いた話かもしれませんが、興味深いです。

アジサイ通信第4号 取材/写真撮影/編集 地域コーディネーター 大島和枝